

おおくら 議会だより



四ヶ村の棚田

第12回 おおくら写真コンテスト
最優秀賞作品「秋色の棚田」
鮭川村 黒坂祐治 氏 撮影



もくじ

編集部特集	2～3P
9月定例会	4～5P
一般質問	6～11P
ブレイクタイム	12P

発行／
〒996-0212 山形県最上郡大蔵村大字清水2528番地
大蔵村議会 0233-75-2111
編集／議会広報調査特別委員会 年4回発行
発行責任者／議長 鈴木君徳
印刷／共栄印刷株式会社

中学生の提案

を活かして

美しい村プロジェクト 2020

「持続可能な村づくりを考える」

～30年後も「美しい村」であるために～

今回は、村の将来を見据えた生徒たちの新たな挑戦と、今、村の抱えている課題を取り上げます。

未来村 <具体的な提案内容>

- 移住……今住んでいる人&新しい人が、住みたくする方法を役場に提案
 - 住む………どんぐり以外のアパート設立
 - 生活する………商業施設を建てる
 - 健康、安心、安全………診療所の診察日を増やす。施設を増やす
 - 働く………小規模の農業専門学校を建てる
 - 集まる、食べる、学ぶ………Uber Eatsなどの流行
 - アピール………田舎ならではの魅力オープンに

まとめ> ●役場に提出できた。
●作業が終わらずに焦ったこともあったが、質の良い発表が出来た。

- 自然……村の杉を利用して、商品開発し産業を発展させる方法
 - 杉を使った商品（温泉用桶、杉の木のプレート、杉の木の遊具）

まとめ> ●杉を使った商品を提案し、村を持続可能にする手伝いが出来た。

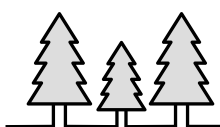
- 観光……村内外の人に新しい人が住みたくするような村のイメージをつくるためのフォトブック作成
 - wordを使って実際にフォトブックを作成
 - 文章を加え景色の写真を多めに入れる

まとめ> ●大蔵村の歴史や景色を分かり易く簡潔にまとめることが出来た。
●実際に形にできて役場の人に伝えることが出来た。

- 健康……1日1つずつ体操、レシピ、元気になる言葉を入れたシニア向けの日めくりカレンダーを村民に使ってもらう。
 - 「自分で多くのものを食べられて、一人で歩くことが出来、ネガティブな考えをなくすために」を達成できる日めくりカレンダーをみて、どのように使ってもらうかを提案

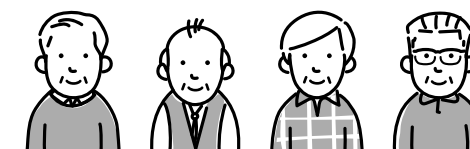
まとめ> ●提案内容は良い内容を考えることが出来たが、カレンダーが小さくて見えづらかったり、提案方法がもう少しだったかなと感じた。

コメント 未来を考えるにあたり、改めて村の歴史や、地域の事を考える良い機会だったのではないのでしょうか。歴史を繋いで今が有り、これからも変化しながら村が良くなるように、若い意見を尊重しながら、村運営をして行くために、私たち議員も考えて行きたいものです。



産業おこし <具体的な提案内容>

- 移動販売……高齢者の買い物難民を救うための移動販売
 - 買い物に行けない高齢者を救うためにはどうしたら良いか
 - ・回るコースは高齢者が多くお店が近くにない
 - ・サービスもして欲しい
 - ・売っているものについて
 - ・高齢者の見守りも兼ねて欲しい
 - ・銭面が厳しいが高齢者の見守りがあるので助成金が欲しい



まとめ> ●インタビュー者が移動販売だけでなく、見守りも兼ねていることに感動した。是非村でも行なってもらいたい。

- キッチンカー……大蔵村を県内外にPRするキッチンカー
 - キッチンカーでは村のトマトを使った料理の販売
例：ピザ、カレー、パスタ、ハンバーガー、ホットドッグ、オムライス、チキンのトマト
 - キッチンカーの一角でPR活動……パンフレットやポスター

まとめ> ●移動販売を調べてみて、仕事をするときに、楽しい事をすると良い事がわかった。
●発表して、いろんな人から評価してもらえて良かった。是非実現してもらいたい。



- 養蜂……村の発展に繋がる養蜂を
 - 巣箱の設置場所……湯の台スキー場
 - 実際巣箱を作ってみる
 - メニュー開発………はちみつ納豆ご飯など

まとめ> ●巣箱の設置場所について熊対策が必要。巣箱づくりは時間がかかったが楽しくできた。
●はちみつ納豆ご飯は反対が多かったが、食べたなら美味しいので食べてもらいたい。

- 養殖……村の発展に繋がる新たな養殖を新しい産業にする。大蔵村ブランド「ホンモロコ」
 - 魚の生育環境づくり
 - 餌づくり

まとめ> ●生育環境を8割ほど整えられた
●村特産物（トマト、そば）を使った餌づくり

コメント 発表を拝見しました。文章には出て来ませんが、とても踏み込んだ内容でした。特に移動販売は今すぐにも必要としている方がおり、販売者の意見を聞いたり、キッチンカーで活躍している方のインタビューや、ホンモロコの生産者との関わり、養蜂での参加者の意見など、先生以外の多くの大人と接し、将来必ず役に立つはずです。生徒だけでなく、私たちも考えさせられた内容でした。これからの生徒の皆さんの活躍を願っております。最後に「やればできる、ネバーギブアップ、あきらめないで」を送ります。

令和2年度決算を 可決認定

令和2年度決算審査を中心とする9月定例会が、7日から10日の4日間の会期で行われ、令和2年度の一般会計・特別会計（8会計）の決算審査の他、令和3年度補正予算（8会計）、条例の改正等を審議・可決。議案審議に先立ち5名の一般質問が行われ、新庁舎移転、婚活、コロナ対策等に関し、執行部と活発な議論を交えました。

令和2年度決算

・一般会計の他8特別会計
「決算審査を通して可決」

条例の制定等

- ・大蔵村過疎地域持続的発展計画の策定
「今後5年間の村事業の計画を立て、国の財政支援を求めるもの」
- ・時折下水処理場の災害復旧に関する契約変更
「復旧工事の進捗による契約額の変更のため」
- ・村国民健康保険条例の一部改正
「コロナ対策に関する国の法律改正に伴うもの」
- ・村税条例の一部改正
「国の法改正に伴う、たばこ税の改正」

令和3年度補正予算

・一般会計、7特別会計の審査

人事案件

- ・教育委員会委員の任命に同意
★林 文枝氏（塩） 再任



議員発議

- ・村議会会議規則の一部改正
「村議会への多様な人材の参画を推進する環境整備を図るため、女性の出産・育児に配慮した規定の整備を図るもの」

請願の審査

- ▼役場庁舎移転の公正な議論のための「村民アンケート」実施の請願

請願者…大蔵村大字南山 高山信男・柿崎ハツ子
審査結果【不採択】候補地・基本計画の公表が先行されるべきと判断。

- ▼米の需給調整に関する請願

請願者…もがみ中央農協代表理事組合長 安食賢一
審査結果【採択】稲作農家の所得確保のため必要と判断

意見書の提出

- ◆豪雪地帯対策特別措置法の延長と改正

内容「豪雪地帯の道路整備や教育施設整備等の促進のための豪雪法の10ヶ年延長と財政支援制度の創設を求めるもの」

- ◆コロナ禍による厳しい財政状況に対処した地方財源の充実に求める

内容「十分な総額の確保と、地方自治体に不利益となるコロナ対策に関する税の特例措置の終了を求めるもの」

- ◆米の需給調整に関する要望

内容「コロナ禍による需要減に対しての各種対策、倉庫の新設・低温倉庫への改修に対する支援を求めるもの」

決算審査特別委員会開催

一般会計

歳入

- 問 一般寄付金が720万と高額だったが内訳は？
答 昨年の豪雨災害に対する義援金等。件数は38件。

- 問 村営住宅使用料に未納があるが。
答 村外に移住してしまっただ人で、少しずつではあるが返済していただいている。

歳出

- 問 昨年の災害で発生した廃棄物処理を行っているが、すべて終わったのか？
答 まだ最終処分まで終わっていない物もある。今年度中の完了を目指している。

- 問 「中山間地域所得向上支援事業費補助金」の内訳は？
答 ミニトマト選果場改修

への支援を行った。

- 問 「鳥獣被害対策実施隊員報酬」とあるが？
答 鳥獣被害対策のため、被害対策実施隊を編成し対策を行っている。村内でもサル、クマ、猪などの被害の多発が懸念され、箱罠などを設置して対応している。

- 問 カルデラ温泉館浴槽柱腐食度調査を実施しているが？
答 令和3年度の補正予算で改修工事を予定している。

- 問 「小規模事業者持続化補助金」の対象は？
答 主に旅館の設備改修に對してのもの。

- 問 「経営維持支援金」支出しているが？
答 コロナ対策で、主に休業支援として支出。個人の商店等も対象とした。

- 問 「がけ地近接等危険住宅移転事業補助金」の内訳は？
答



- 問 農業施設（ハウス）30数棟の被害に対しての補助。村・県合わせて八割程の補助率。
答

- 問 「農業関係災害緊急復旧事業費補助金」の内訳は？
答

- 問 ドクターヘリ誘導業務を行っているが、昨年の村内出勤要請実績は？
答 昨年度の村内での出勤要請は3件。

- 問 村内に対象区域が数力所あり、移転した場合支払われる。今回の補助対象は清水地内。
答

特別会計

国民健康保険

- 問 県一本化での運営となつてから3年経過したが状況はどうか。また、村は保険料の引き下げを今年度行つたが。
答 現段階では落ち着いた運営状況と見ているが、村では、高額療養者の増加等もあり、2、3年後の跳ね返りを心配している。

簡易水道事業

- 問 簡易水道事業運営に対して、使用者の負担割合はどうか。
答

- 問 施設の大規模改修等もあり、負担割合を一概に示すことは難しいが、使用料は県内で一番安い。生活しやすい、子育てしやすい環境を今後共維持できる運営を心掛けていく。
答





佐藤

勝 議員

新庁舎移転は村民の意見を 尊重すべき

村長 候補地案を示し、村民を 交えた役場庁舎建設検討 委員会等を設置する

問1 最近新聞等で首長より提出された議案が議会で否決されることが見受けられる。要因として、事業達成の為、限られた人達により内密に計画が検討され、外部には公表しない姿勢が考えられる。いくら綿密に計画を立てても誤解や心情的ずれにより趣旨を見失い、議会で否決となればせっかくの努力も無駄になる。決してあってはならないこと。

でも、役場庁舎の移転という大きな事業を抱えている。早急に骨子となる計画を策定し、これらを広く村民に開示し、同時に多くの意見を収集し、かつ幅広い層から構成される「検討委員会」を立ち上げるべきと考える。村長の考えは。

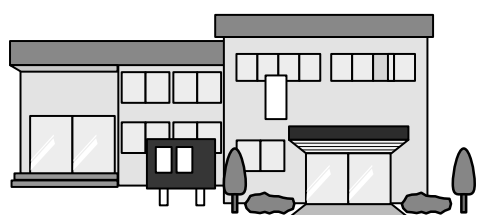
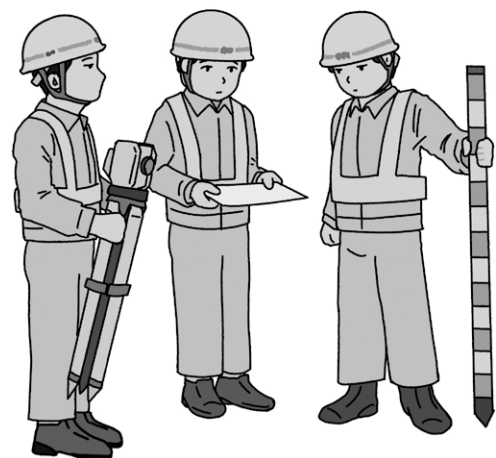
答1 現役場庁舎は、浸水想定区域にあり、半分が耐震化されていない状況。これまで役場中堅職員による

庁内検討委員会や管理職による庁舎整備検討委員会などで庁舎移転について検討を重ねてきた。現在、五ヶ所ある移転候補地の一つを測量及び地質調査を行って候補地となりうるか見極めている段階。その結果を待って、候補地の案をお示し、村民を交えた役場庁舎建設検討委員会などを設置して村民の意見を反映させたい。

問2 調査費用として800万円が計上された。候補地全ての調査データを口頭ではなく書面で議会に提出していただきたい。また、将来役場庁舎だけでなく、中央公民館や診療所も併設したい考えであると聞いたが、そうだからこそ多くの村民の意見を聞き、理解を得て将来に悔いを残さないようにと思う。議会に村民から庁舎移転に係って請願書が提出されているが村長はどの

の様に考えているか。

答2 調査データは開示する。請願書にある「村民アンケート」に関しては、まだ計画の骨子ができていないので、今すぐには無理だが、でき次第実施したい。



村政を問う

一般質問
9月
定例議会



一般質問とは？

村政全般に対して議員が質問し、意見を述べ村政をただしていくもので、大蔵村では1議員の持ち時間が45分です。

8月26日の
議員研修時

8月、山形県町村議会議長会参与の武田氏を講師に招き、議場で議員研修会を開催。議員の発言力を高めるため、改めて議会、議員の役割を研修。

5議員が一般質問

7P

佐藤 勝 議員

○役場新庁舎移転は村民の意見を尊重すべき

10P

矢口 智 議員

○棚田サミットを終えて

8P

早坂 民奈 議員

○村として婚活をどう考えるか

11P

海藤 邦夫 議員

○村道の維持管理は万全か
○空き缶のポイ捨てをやめさせる方策はないか

9P

佐藤 雅之 議員

○村として抗原検査キットの備蓄と事業所、学校等への配布の考えは



早坂 民奈 議員

村として婚活をどう考えるか 結婚を望む方の考え方に 配慮し実施

問1 少子高齢化に伴い人口減少に歯止めがかからない。要因を考えると、根本的な婚姻数が少ないのではない。周りを見ても該当者が少ないわけではない。結婚は個人の自由だが、将来的に村を維持してゆく人たちが居なくなると危惧される。昨年まで縁結び奨励費、一昨年は結婚相談事業委託料が予算計上されていたが、今年は無い。婚活をどの様に村は考えているか伺いたい。

答1 少子化の一因である晩婚化・未婚化を踏まえ結婚相談窓口「大蔵村結婚サポートセンター」の設置を行うと共に、仲人隊による出会いの場提供や、サポート、イベント情報の提供等の活動を行ってきた。結婚サポートセンターの運営を商工会に委託し、様々な支援事業を展開してきたが、成果が得られず、令和3年3月末をもって終了。その後、県や最上地域と連携した広域的な活動を中心に取

り組んでいる。単独の市町村で行うより効果的だと言える。結婚は個人の自由であり、強制されるものでも特定の価値観を押し付けるたり、プレッシャーを与えるものではない。現代社会の多様性を重視し、村として結婚を望む方の考え方に配慮しながら、今後も出来ることを、確実に実施していく。

問2 婚姻数がH29年21組、H30年8組、R1年7組、R2年3組とこれでは人口が増えるわけがない。他町村では婚活サポーターの充実、結婚支援金補助などあり、HPでも探しやすい。もっと積極的に取り組むべきではないか。

答2 様々な手を尽くしたが、成婚しなかった。補助金、交付金なども考えて行きたい。

問3 子育てしたい、住みたい村として、皆が集う遊び場が無いと思うがどうか。

答3 集落単位の公園整備は行っているが、中央には難しい。あるものを整備してゆきたい。例えば合海団地の公園、小学校のグラウンドなど。

問4 仲人隊の考えは。

答4 適任者に委託し、これからも考えて行かなければならない。また、新たな協力者による、村にあった縁結びが出てきており育てて行きたい。



佐藤 雅之 議員

抗原検査キットの備蓄と事業所、学校等への配布の考えは 症状がある場合は、村診療所等、医療機関への相談をまずは啓発

問1 村では迅速なワクチン接種が完了し、新型コロナウイルスに対し村民の不安解消につながっている。他方で、変異株の影響で全国的に感染の急拡大が進み、ワクチン2回接種後の感染やワクチンを接種していない児童や乳幼児への感染事例も県内外で多数報告され、不安を完全には払拭していない。

地を抱え、県境をまたぎ、首都圏などからの来客もある。感染防止と経済活動の両立は本村にとっても重要な課題。さらに豪雨災害などの自然災害も頻発し、コロナ禍での避難生活の長期化も懸念される。

コロナ感染者の早期発見、早期隔離の手立てとして抗原検査キットを村として避難所等に備蓄し、あわせて事業所や、小中学校、保育

所等に無償で配布する考えはあるか。

答1 抗原検査は発症から9日以内に検査するのが有効だが、検体採取には注意点を十分に理解した職員管理のもと適切な感染防護をおこない、発症者自らが採取することになる。本人や保護者の同意も必要。国の事業として小中学校や保育所に検査キットを配布することになったが、学校等には医療従事者がいないため4年生以上は検体の自己採取となり、困難だと認識している。また、小学校3年生以下は現段階で検査は認められていない。

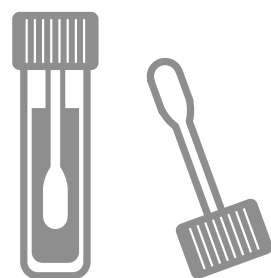
症状が出て疑わしい場合は、登校や出勤をしない。出勤等後に症状が出た場合は、退勤や下校を促す。そして速やかに大蔵村診療所やかかりつけ医療機関などに相談をする、村はまずはこのような啓発を行う。

災害時など、すぐに医療

機関等への受診が困難な場合は、検査キットを避難所で保管・使用することは有益。検査方法や保管場所なども含め検討する。

問2 旅館等、宿泊業事業者や事業所への抗原検査キットの配布については。

答2 「秋の行楽」等を踏まえ、受け入れる側の安全のアピールとして、検査キットの在り方や検査手段などを検討してゆきたい。





矢口 智 議員

棚田サミットを終えて

村長 行政と地域が同じ方向を見ながら

問 本来であれば間もなく開催されたであろう「棚田サミット」が新型ウィルスの影響をともに受け開催できなかったことは残念でならない。全国の棚田に関わる人々と直接語り合う機会を失ったことも大きな失望だが、それ以上に「四ヶ村の棚田」の現状を多くの方々と共有し、将来的な展望を導き出すきっかけになり得ると思っていた絶好の機会を失ったことの失望の方がとても大きく、残念で

ならない。

しかし、本開催が取りやめとなったからといって、ゼロにもマイナスになった訳でもない。棚田に関わる様々な研究は継続しているし、「四ヶ村の棚田」に関する研究が、その多岐多岐から研究が進められていると信じている。

私は「棚田の再整備」を柱に、将来の姿を地元の皆さんと共に導き出していきたいと思いつけてきたつもりだが、村長も他地区の百

選の棚田と根本的に違う規模・生産性を持つ「四ヶ村の棚田」を未来に繋げていきたいと常々言っている。棚田サミットの本開催が叶わなかったことに関わらず、取り組みの一区切りとして、思い・将来構想を示すべきと思うがどうか。

答 サミットの中止は非常に残念なことだが、新たな取り組みが進みつつある。

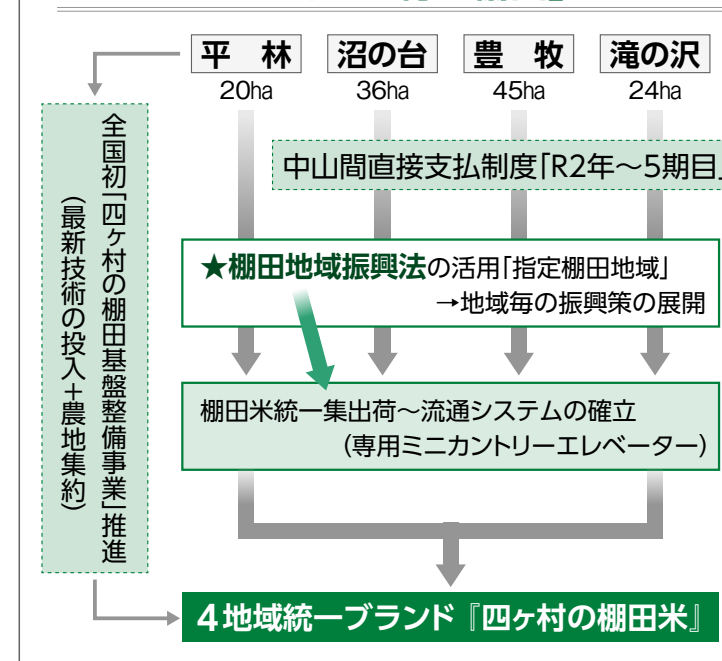
第一に、令和元年度に施行された、棚田地域振興法による指定棚田地域に指定されたこと。これを機に設立された「四ヶ村の棚田地域振興協議会」が策定した「指定棚田地域振興活動計画」が内閣府の認定を受けたことにより、様々な支援措置が受けられる体制が整った。

それにより、県の補助事業を活用したラジコン式草刈機の導入補助や、芝生の敷設による畦畔管理の実証実験などに着手。また、振

興活動計画認定により、中山間地域等直接支払交付金の加算措置の対象地域となり、10a当たり1万円の加算を受けることが可能となった。すべての集落で取組めるよう支援を続けていく。その他に、休耕田の復田事業や看板設置等、棚田保全を核とした地域づくりに関する取り組みを今後も推進していきたい。



日本一でっかい「四ヶ村の棚田」未来予想



海藤 邦夫 議員

村道の維持管理は万全か

村長 重要度を勘案し実施

問 集落を結ぶ村道は村が管理しているが、冬の除雪等により、ガードレールの破損箇所が随所に見られる。道路舗装はすぐに補修する

が、ガードレールはなかなか手が回らない様に見受けられる。転落防止の面からも早急に補修してもらえないか。また道路に草木が覆い被さっている場所もあり、維持管理を願いたい。

答 除雪等によるガードレール破損が随所に見られるとのことですが、村道除雪作業時には注意するよう指

導をしています。大雪や吹雪での視界不良による破損が主で、破損の原因は積雪によるもの。

破損は、交通事故時の被害を拡大・村の景観を損なう要因であり、村でも大変憂慮している。通行の安全確保のため、計画的に補修や耐雪型への交換を推進していく。また、道路の除草については、主要な幹線村道等について行っており、全体的な村道の除草を行うことは困難。

空き缶のポイ捨てをやめさせる方策はないか

村長 見かけたら自ら片付ける事が重要

問 空き缶、ペットボトルのポイ捨てが最近、増えている傾向にある。田圃や畑等にお構いなしに捨てていくマナーの悪さが目立っている。

「美しい村連合」に加盟している村として、道路のあちこちに空き缶、ペットボトルが捨てられているのを見ると、これでいいのだろうかと考えさせられる。村独自のポイ捨て禁止の方策はないのか、村長に伺う。

答 「日本で最も美しい村」連合に加入し、本年度16年目となります。

村民の皆様のご協力のもと、各地区での自主的な清掃活動や、プランターオー

に講演会など美しい村づくりに対する村民の意識の醸成を行ってまいりました。こうした取り組みにもかかわらず、心ない方々による空き缶・ペットボトルが数多く捨てられている現状もあり、誠に残念な事と思います。村では、大蔵村環境美化推進条例があり、条例第7条にポイ捨ての禁止が定義されております。

ポイ捨てについては、本当に数少ない心ない方々によるものと思われませんが、ポイ捨てできる環境を減らすためにも、捨てられた空き缶やペットボトルを見かけたら自ら片づけることも重要かと。



ブレイクタイム

「議会への請願・陳情とは？」

定例議会の際、住民や各種団体から議会へ請願や陳情が提出されます。今回は、そもそも「請願」、「陳情」とはなにか。議会にどのように提出するのか、その取扱いなどについてお知らせします。

請願や陳情は、法令や条例の制定や改廃をはじめ、国や地方公共団体がおこなう施策全般について、国や地方公共団体に行うものです。日本国憲法16条に明記された基本的人権の一つで、民主政治や地方自治の活性化にもつながります。その違いを表に示すと以下のようになります。議会への民意の反映として状況に応じてご活用ください。



大蔵村議会の運用の場合（議会により運用に多少の違いがあります）

形態の違い	請願書	陳情書等	意見書
提出（発議）主体	どなたでも※1	どなたでも※1	議員
紹介議員の有無	1名以上必要※2	必要なし	必要なし※3
審査の場	所管委員会及び本会議	原則議員への資料配布のみ※4	本会議
方 法	採択又は不採択		可決又は否決
採択等された場合の法的拘束力	法的拘束力は無し※5		法的拘束力は無し※5

- ※1 憲法上の権利として、個人、法人等の団体、村民がどうかにかかわらず、また、外国人、未成年者も含め、請願、陳情を提出する主体に要件はありません。
- ※2 大蔵村では当該請願を審議する委員会以外の議員から、1名以上に紹介議員になってもらい提出します。
- ※3 議員自らが発議しますので紹介議員は必要ありません。
- ※4 大蔵村では、議長が請願同様に扱う必要があると判断した場合以外は議員各位へ資料として配布するに留まります。
- ※5 採択された請願や可決した意見書は、議会としての意思表示として、政治的・道義的なものに留まるため法的拘束力ではありません。また、意見書は関係する執行機関（省庁や県、村当局等）に送付しますが、あくまでも村議会の意見であるため当該執行機関が法的に拘束されるものではありません。



後書き

一面に広がる黄金色の稲穂、その中をコンバインが刈り取り作業をしている。

「米」は八十八の手間がかかると言われているが、今はどうだろう。機械化が進み人手がいらなくなり、楽にはなったが、人との繋がりが薄れて来たのではないか。少し寂しい。年長者との話の中で、昔語りで花が咲き、生き生きと話す姿と、苦労を重ねたであろう深いシワに、母の面影を見つめる。ふと、幼き頃を思い出した。稲杭の上を飛ぶトンボ、おやつに食べた洋ナシの味、稲わらを運んだ時の稲穂の先がチクチクと肌を刺す痛み、手伝いの人たちと母が笑っていた顔。母はとも歌が上手な人で、特に私の好きな歌「みかんの花咲く丘」は忘れられない。皆さんは親御さんとの思い出は何ですか。秋の夜長、飲み物片手に物思いにふけてみてはいかがでしょう。（早坂民奈）



議会広報調査特別委員会

委員長	矢口
委員長	佐藤
委員	早坂
委員	藤民
委員	光奈
委員	雄智